

いちごぐみだより



社会福祉法人まほろば 湊こども園

令和5年1月24日

真冬の寒さに負けず、元気いっぱいに登園している子どもたち。

寒い日でも子どもたちはとても元気で、三輪車やスクーターに乗ったり、鉄棒や雲梯にぶら下がったり、「よーいどん！」と言うと園庭を走ったりして体を動かすことを楽しんでいます。これからも子どもたちが楽しんでいる姿を受け止め、一緒に遊びながら遊びを広げていきたいと思います。今年度も残りわずかですが、一日一日を大切にしながら、楽しく笑顔で過ごしていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



一年間遊びで取り入れてきたリズム遊びと体操を生活発表会で披露します。音楽が流れると自然に体が動くようになり、子どもたちもできるようになった喜びを感じながら楽しく遊んでいます。また素材を使って遊ぶことも大好きで、ダンボールを太鼓、食品用ラップの芯を太鼓のバチに見立てて「どんどんっ！」と音を鳴らしたり、ダンボールの中に入って遊んだりしています。遊んでいる中で、「一緒に遊びたい」「お友だちが使っているものが欲しい」などのトラブルにつながることもありますが、保育者が仲立ちすると「かして」「ちょうだい」「いいよ」などとやり取りができるようになってきました。生活発表会当日は、そのような子どもたちの様子を温かく見守りながら、お子さんの成長を見ていただけたらと思っています。



いちごぐみになってから約10か月間、製作や絵画をたくさん経験してきました。大きな模造紙や画用紙に絵の具やクレパス、マーカーでおえかきしたり、シールを貼ったりする中で、「これ〇〇かいた」と保育者に描いたものを伝えたり、「どこにはろうかな～」と考えながら取り組んだりする姿がたくさん見られるようになりました。これからも楽しくのびのびと表現できる遊びを取り入れていきたいと思います。